

定例学会演題抄録投稿要項

提出いただいた抄録は、基本的に再編集して掲載しますが、できるだけ仕上がりをイメージして作成してください。作成にあたっては編集の都合から可能であればWindows・MachintoshともOffice Wordでの作成にご協力ください。

ページ設定やフォントについてはデフォルトの設定をお使いください。システムフォントにないフォントをお使いの場合や特殊な装飾は、文字化けや再現できない可能性があります。本文の段組みは使用しません。

演題タイトルのみ本文などより+1~2ポイント大きくしてください。

送付先：日本医学写真学会事務局 E-mail：jamp-admin@umin.ac.jp

※注：E-mailに添付するファイルの容量は5MB程度を目安にしてください。

それ以上のファイルサイズの場合には、事務局アドレスへご相談ください。

抄録文例

タイトル → レンズの分解清掃を行ってみてわかったこと

発表者 (共同演者) → 誰もが試してみたいけど、手を出さないことを調べてみた

※発表者の先頭には
○をつける → ○河村 廣幸¹⁾、前田 薫¹⁾、角田 晃啓¹⁾

所属 → 森ノ宮医療大学 理学療法学科

はじめに・目的
などの序論 → 【はじめに】
最近、古いレンズを購入して分解清掃して使用したり、転売することが流行っている。私もオールドレンズの味わいを堪能すべくす文かい・清掃を行っている。私が使用しているPENTAXの古いレンズであっても、コリメーターを使用して調整しなくてはいけない物は少なく、分解組み立てが容易な物も多い。分解清掃することにより多くの事を知ることができる。例えば、無水アルコールやイソプロピルアルコールで何度拭いてもとれない汚れが、水性のレンズクリーナーであっさり取れたり、その逆も多く見られる。実のところ、最強のクリーナーは台所用中性洗剤であったのも新しい発見である。

使用機器や方法 → 【概要】
レンズのコーティング剥げは、レンズコーティング剤で改善できるかを試してみた。前玉のコーティング剥げのため900円で落札したフィルム時代のSMC PENTAX28~300mmレンズにnanotol Proメガネレンズコーティングを20回塗布した。

結果や考察など → 【結果】
かなりコーティング剥げが目立つレンズであったが、外見上はほとんど見分けがつかない程度には修復できた。実写では、順光では特に問題はなかったが、逆光では盛大にゴーストが見られた。
ただし、このレンズはもともと評判のよくないレンズで同等のレンズと比較した場合には大差は見られなかった。
メガネレンズのコーティング剤も一部のオールドレンズには十分な効果があると考えている。

見本



図1. コーティング剤塗布前